

じょうほうぶかい  
【情報部会】

ていげんそあん きにゆうようしき  
提言素案の記入様式

<p>なまえ 名前</p>	<p>ロボ ナシメント</p>
<p>タイトル</p>	<p>かながわけん しがいこくせきけんみん じょうほうていきょう かんりかいぜん 神奈川県HPにある外国籍県民への情報提供の管理改善</p>
<p>ないよう 内容</p>	<p><a href="https://www.pref.kanagawa.jp/">https://www.pref.kanagawa.jp/</a>のLPと <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/">https://www.city.yokohama.lg.jp/</a>のLP を見ながら日本語が読めない人として双方のLPの使いやすさを比べてみてください。  <a href="https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/1305/saponavi-kanagawa/">https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/1305/saponavi-kanagawa/</a>と <a href="https://www.pref.kanagawa.jp/menu/1/1/10/index.html">https://www.pref.kanagawa.jp/menu/1/1/10/index.html</a> のような役に立つペー ジはかなり見つけ難いです。このページを含めて外国籍県民に対するHP上の情報 提供を管理改善してほしい。</p>
<p>りゆう 理由</p>	<p>かながわけん げんきょう しがいこくせきけんみん ひつよう じょうほう み いっぽう 神奈川県HPの現況では外国籍県民にとって必要な情報が見つかりづらいです。一方 で横浜市HPではランディングページ(LP)で日本語が読めない人向けの分かりや すいリンクがあり、そのリンク先には数言語での情報が提供されています。DX 戦略を考慮するとLPがお店の窓のように綺麗に管理されていると、見ている人が お店に入ろうとする気持ちになる役割があります。現況の神奈川県のHPはGoogle の自動翻訳サービスによる翻訳がされており理解しにくいところが数々ありま す。さらに、どんな情報がどこにあるか分かりにくく、必要な情報が探しにくい です。神奈川県が多文化共生を推進していく上では、外国籍県民が情報を簡単に 効率的に見つけられるように提供することも重要なことではないかと考えま す。</p>
<p>びこう 備考</p>	<p>こんご かいぎ ていげんこうそう かんけい ないよう べんきょうかい じっし けんどう 今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討 しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。 『第11期提言6 高齢者の外国籍県民が安心して生活できるサポート体制の 構築』に関連する今実際にある高齢者の外国籍県民へのサポート体制や情報提供 を知りたいです。</p>

ていげんそあん きにゆうようしき  
提言素案の記入様式

<p>なまえ 名前</p>	<p>いわまつ さゆみ 岩松 佐由美</p>
<p>タイトル</p>	<p>にほんごきょうしつ 日本語教室のオンライン化の強化&amp;小・中学生の授業のサポートオンライン化</p>
<p>ないよう 内容</p>	<p>にほんごきょうしつ 日本語教室はオンライン化されているところではありますが、まだされていないところもあるため、そこをもっと強化することは大切だと思います。 また、現在オンラインで教室など行うことが多くなってきているため、小・中学生の授業のサポートもオンライン化することも良いと思いました。 その内容としては、学校にある国際教室の応用系でいいと思います。</p>
<p>りゆう 理由</p>	<p>オンライン化することによって、通えない子どもたちでも、オンラインで学校での普通の授業でわからなかったことも聞ける場所を設けてあげたいと思います。 私はず、こう思うには、向こうから来られる外国の方々の子どもたちは、家では親御さんの国の文化は教わりませんが、日本の学校では、最初から日本の基礎的な文化を教わることは正直少ないです。自分もそうだったのでそう思います。 私の場合は、上にお兄さんが二人いるので学校のことなどは教わることはできましたが、そうでない子は、たくさんいます。今でもよく相談は受けます。 その子たちのためにサポートできる場を私は設けたいです。 以前、コロナの時期でもオンライン授業なども行われていたため、参加することは、むずかしくはないと思います。 また、小・中学生とメインに伝えているのは、私が思うには、そこで日本語勉強、授業で学ぶ勉強方法、ベースが作れると思うからです。</p>
<p>びこう 備考</p>	<p>こんご かいぎ 今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。 ・外国につながる子どもと保護者のための小学校入学前の説明会の実施 ・地域住民と交流促進のための町内会活用案</p>

ていげんそあん きにゆうようしき  
提言素案の記入様式

<p>なまえ 名前</p>	<p>き せい 祁 静</p>
<p>タイトル</p>	<p>ファミリーサポートセンターの<sup>にゆうかいしりょう</sup>入会資料と<sup>しえんかいけんしゅうかい</sup>支援会員研修会の<sup>たげんごかたいおう</sup>多言語化対応について</p>
<p>ないよう 内容</p>	<p>ファミリーサポートセンター(横浜子育てサポートシステム)とは子育て中の家庭を支援するために「子育ての手助けをして欲しい方」(利用会員)と、「子育ての手助けができる方」(支援会員)が会員登録をし、地域の中で、「できる事をできる範囲で」お互い助け合いながら、子育ての相互援助を行うことを目的としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<sup>にゆうかいもうしこみじよ</sup>入会申込書(併記) &amp; <sup>へいき</sup>配布資料の<sup>たげんごか</sup>多言語化</li> <li>・<sup>げんごべつ</sup>言語別の<sup>しえんかいけんしゅうかい</sup>支援会員研修会か<sup>つうやくつ</sup>通訳付きの<sup>しえんかいけんしゅうかい</sup>支援会員研修会の開催</li> </ul>
<p>りゆう 理由</p>	<p><sup>げんざい</sup>現在、<sup>にゆうかい</sup>入会の<sup>しりょう</sup>資料と<sup>しえんかいけんしゅうかい</sup>支援会員研修会には<sup>にほんご</sup>日本語が出来ないとなかなか<sup>かいけん</sup>会員になれない状況になっている。</p> <p><sup>とく</sup>特に<sup>がいこくじん</sup>外国人の間でこの<sup>せいど</sup>制度を利用したいが、<sup>じっさい</sup>実際に<sup>ことば</sup>言葉が<sup>げんいん</sup>原因で<sup>りゆう</sup>利用できないことが多かった。</p>
<p>びこう 備考</p>	<p><sup>こんご</sup>今後の会議で、<sup>ていげんこうそう</sup>提言構想に<sup>かんけい</sup>関係する<sup>ないよう</sup>内容について、<sup>べんきょうかい</sup>勉強会を実施することを検討しています。どのような<sup>がくしゅう</sup>テーマについて学習したいですか？</p> <p><sup>きぼう</sup>希望するテーマがあれば、<sup>きにゆう</sup>記入してください。</p>

ていげんそあん きにゆうようしき  
提言素案の記入様式

<p>なまえ 名前</p>	<p>は さんう 河 相宇</p>
<p>タイトル</p>	<p>1. がいこくせきけんみん かながわ かいぎ ていげんご じょうきょうかくにんせいど せつりつ 外国籍県民かながわ会議の提言後の状況確認制度 設立 2. がいこくじん いけん かくにん せいど せつりつ 外国人の意見を確認できる 制度 設立</p>
<p>ないよう 内容</p>	<p>1. がいこくせきけんみん かながわ かいぎ ていげんご じょうきょう がいこくせきけんみん かながわ かいぎ 外国籍県民かながわ会議の提言後の状況を外国籍県民かながわ会議のメンバ ーが確認できる制度を設立する 2. がいこくじん いけん がいこくせきけんみん かながわ かいぎ 外国人の意見を外国籍県民かながわ会議のメンバーが検討して提言に反映さ せる</p>
<p>りゆう 理由</p>	<p>1. げんざい がいこくせきけんみん かながわ かいぎ ていげんご じょうきょう 現在 外国籍県民かながわ会議にて提言後 状況 A や B で記載されているが けんとうぶしょ けんとうないよう さいようかのうせい 検討部署や検討内容や採用可能性があるのかいつ採用するのか不採用になるのか めいかく すす しょうまいないよう はあく つね がいこくせきけんみん かいぎ 明確ではないのもう少し詳細内容を把握でき、常に外国籍県民かながわ会議の メンバーが確認できる制度を設立する 2. げんざいがいこくせきけんみん かながわ かいぎ 現在外国籍県民かながわ会議のメンバーになれば意見 けんせい ていげん メンバーのみの意見だけではなく神奈川県 かながわけん がいこくじん いけん き の意見だけでなく神奈川県 かながわけん がいこくじん いけん き の意見を聞ける制度を作り がいこくせきけんみん かながわ かいぎ 外国籍県民かながわ会議のメンバーが検討して 良い意見は県政に提言できるよう に すす はばひろ がいこくじん いけん はんえい 進めていくことで幅広い外国人の意見が反映できる</p>
<p>びこう 備考</p>	<p>こんご かいぎ ていげんこうそう かんけい ないよう べんきょうかい じっし けんとう 今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討 しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ きぼう 希望するテーマがあれば、記入してください。 ・ 提言後 けんせい けんとう さいい しょうかいぎ さんか ていげんご けんせい はんえい 提言後 県政で検討する際の諸会議の参加など提言後 どのように県政に反映、 せいど はんえい こうぞう べんきょうかい きぼういた 制度に反映する構造、プロセスがより理解できる勉強会を希望致します</p>

提言素案の記入様式

<p>名前</p>	<p>肖 欣怡</p>
<p>タイトル</p>	<p>外国人留学生の活躍を推進するプログラムについて</p>
<p>内容</p>	<p>外国人留学生と地域団体が対等に集い、連携できる場を作ることで、外国人留学生と地域社会とのつながりを深め、今後日本での活躍を促進することを目的とします。具体的には、以下の提言を行います。</p> <p>①地域のインターンシップやボランティア活動情報を提供し、希望する地域団体と外国人留学生をマッチングします。</p> <p>②外国人留学生が主役となって、多文化共生や国際理解をテーマにした講演会（セミナーや出前授業）を企画開催します。</p>
<p>理由</p>	<p>①日本政府は外国人留学生を受け入れ、卒業後に日本での活躍を目指すための計画を進め、外国人留学生の数は増加傾向にあります。近年、外国人留学生の日本での就職率は上昇していますが、希望者の約半数が帰国しており、地域への定着を促す余地があると考えられます。</p> <p>②外国人留学生が今後日本社会の優れた担い手として捉えてほしいので、生活面のサポートだけではなく、学術研究や社会活動を行う際のサポートも大切です。行政と大学、地域が一体となって取り組むことで、より良い環境が整い、外国人留学生が将来日本で活躍するための道が広がることを期待されます。</p>
<p>備考</p>	<p>今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <p>①日本の移民受け入れ政策</p> <p>②外国人若手研究者、起業家の活躍事例</p>

提言素案の記入様式

<p>名前</p>	<p>ゆう だいたつ 齋 大達</p>
<p>タイトル</p>	<p>ざいにちがいこくじん こ きょういく 在日外国人の子どもの教育について</p>
<p>内容</p>	<p>1. らいにち けいい かくじ 家庭事情により、子どもたちは受ける日本語の教育の機会には様々であるため、平等に日本語の教育を受けられるようなシステム作りが必要だと思っておりますので、そのシステム作りにおいて、県又は国の支援が不可欠です。</p> <p>2. にほんごがっこうとう せんもんきょういくきかん のぞ にほんご おし ひと々は現状、ボランティアが主力であるそうです。そのボランティアたちの日本語を教える力を強めるため、研修等を行い、学び合うことが大事だと思っておりますので、その研修活動を行うのに、県はノウハウや資金等を提供することによって活動をバックアップしてほしいと期待しております。</p> <p>3. がいこくじん こ ぼこくご きょういくきかい つく ぼこくご きょういくきかん (教室や学校等) への支援を行ってほしいと思っております。</p>
<p>理由</p>	<p>1. 子どもたちは日本語が分からないと、進学や就職に大きな障害をもたらしてくると思っておりますので、いい人材を育てないことだけではなく、しっかり職についていないと、最悪な場合は罪を犯してしまう恐れもあります。</p> <p>2. 教える人がうまく教えられないと、勉強の効果が表れないと思っております。それに、子どもたちは日本語の勉強が嫌いになる可能性も高くなりますので、最終的に不登校や引きこもりになる恐れがあると思っております。</p> <p>3. 外国人の子どもたちに日本語をきちんと教えることにより、日本の影響力をその子どもたちの母国にももたらせる一方で、他方、日本とその母国とのつながりを強められると思っております。</p> <p>4. 外国人の子どもたちに母国語を教えることにより、バイリンガルになれるだけではなく、母国の文化や歴史等に触れながら、母国と日本との関係をより深く学ぶことができ、大人になったら、両国間の橋渡し役を果たせると期待できると思っております。</p>
<p>備考</p>	<p>こんご かいぎ ていげんこうそう かんけい ないよう べんきょうかい じっし けんとう 今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>きぼう 希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <p>( がいこくじん こ む がっこう きょうしつとう じゅぎょうさんかん )</p> <p>・外国人の子ども向けの学校や教室等の授業参観</p>

提言素案の記入様式

<p>名前</p>	<p>サブコタ ドルラズ</p>
<p>タイトル</p>	<p>学校教育における「多文化共生」教育の充実</p>
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県<small>かながわけん</small>の小中高<small>しょうちゅうこう</small>、特別支援学校<small>とくべつしえんがっこう</small>における「多文化共生」の授業<small>たぶんかきょうせい</small>の実態調査<small>じゅぎょう じつたいちようさ</small></li> <li>・教職員<small>きょうしよくいん</small>へのアンケートの実施<small>じっし</small></li> <li>・「多文化共生ふれあい事業（仮）」の立ち上げ<small>たぶんかきょうせい じゅぎょう た あげ</small></li> </ul>
<p>理由</p>	<p>●たくさんの外国<small>がいこく</small>につながる児童生徒<small>じどうせいと</small>が公立学校<small>こうりつがっこう</small>などに通っている状況<small>じょうきょう</small>の中で、学校<small>がっこう</small>での「多文化共生」教育<small>たぶんかきょうせい</small>の重要性<small>じゅうようせい</small>が高まっている。日本人<small>にほんじん</small>の子どもたちにとっても、外国<small>がいこく</small>につながる子どもたちにとっても、大事な機会<small>だいじ きかい</small>である。</p> <p>●できるだけ幼い時期<small>おきな じま</small>から、「多文化」にふれて、普段<small>ふだん</small>の生活<small>せいかつ</small>の中で経験<small>けいけん</small>することが、今後の「多文化共生社会」<small>たぶんかきょうせいしゃかい</small>を作るうえで大切<small>たいせつ</small>。</p> <p>●外国<small>がいこく</small>につながる当事者<small>とうじしや</small>が活躍<small>かつやく</small>することで、子どもたちのロールモデル<small>ろーるもでる</small>となりうる。</p> <p>●「多文化共生」の授業<small>たぶんかきょうせい</small>をしたいと思ったときに、利用できる事業<small>りよう</small>（制度）<small>じぶよう</small>があり、それをコーディネートする機関<small>きかん</small>があれば利用<small>りよう</small>する学校<small>がっこう</small>が増えるのではないか。</p> <p>* 横浜市<small>よこはまし</small>には市民ボランティア<small>しみん ボランティア</small>の活動<small>かつどう</small>があるが、神奈川県内<small>かながわけんない</small>を活動範囲<small>かつどうはんい</small>として、専門性<small>せんもんせい</small>をもって実施<small>じっし</small>できるようにしたい。</p> <p>例：なかく街の先生<small>まちのせんせい</small> 「多文化共生」  <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kurashi/kyodo_manabi/kyodo_shien/kuminkatsudo/machinosenseiitiran.html#9F775">https://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kurashi/kyodo_manabi/kyodo_shien/kuminkatsudo/machinosenseiitiran.html#9F775</a>          港北区<small>こうほくく</small>まちの先生<small>まちのせんせい</small> 「国際理解・語学」  <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/madoguchi-shisetsu/riyoshisetsu/kuminkatudou/mtindex/group_q.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/madoguchi-shisetsu/riyoshisetsu/kuminkatudou/mtindex/group_q.html</a>          川崎市<small>かわさきし</small>「多文化共生ふれあい事業」          川崎市<small>かわさきし</small>外国人教育基本方針<small>がいこくじんきょういく きほんほうしん</small>のつと、川崎市<small>かわさきし</small>の学校<small>がっこう</small>において民族文化<small>みんぞくぶんか</small>の紹介<small>しょうかい</small>や指導<small>しどう</small>を行う外国人市民等<small>がいこくじんしみんとう</small>を招請<small>しょうせい</small>して多文化共生<small>たぶんかきょうせい</small>をめざす学習活動<small>がくしゅうかつどう</small>を実施<small>じっし</small>する際に、教育委員会<small>きょういく いんかい</small>が行う支援<small>しえん</small>の内容<small>ないよう</small>を定めるもの。</p>
<p>備考</p>	<p>今後の会議<small>かいぎ</small>で、提言構想<small>ていげんこうそう</small>に関係<small>かんけい</small>する内容<small>ないよう</small>について、勉強会<small>べんきょうかい</small>を実施<small>じっし</small>することを検討<small>けんとう</small>しています。どのようなテーマ<small>てま</small>について学習<small>がくしゅう</small>したいですか？          希望<small>きぼう</small>するテーマ<small>てま</small>があれば、記入<small>きにゅう</small>してください。          小中学校<small>しょうちゅうがっこう</small>における「多文化共生」<small>たぶんかきょうせい</small>に関する授業<small>かん じゅぎょう</small>の現状<small>げんじょう</small>、現場<small>げんば</small>の声<small>こえ</small></p>

提言素案の記入様式

<p>名前</p>	<p>サブコタ ドルラス</p>
<p>タイトル</p>	<p>母語（継承語）・母文化教育の機会を保障するための仕組みづくり</p>
<p>内容</p>	<p>・幼少期から母語・母文化に触れ、勉強できる場の構築。          ・神奈川県内の母語教室などの現状や母語・母文化教育の必要性について「外国につながるのがある児童・生徒への指導・支援の手引き（改訂版）」への明記。          ・県立高校での母語授業の実施。*第2外国語ではなく「母語（継承語）授業」外国人コミュニティや外国につながるのがある人材を活かせる場として講師の育成も視野に入れたい。</p>
<p>理由</p>	<p>●今後、日本で生まれ生活する子どもたちは増加することが考えられるが、日本語しか話せない子どもたちの場合、親子や親戚とのコミュニケーションも難しい。なぜなら親たちがなかなか勉強の時間を確保できず、日本語をほぼ話せない状況がほとんどだからです。子どもの精神の成長、アイデンティティの育成において、母語や母文化の勉強を保証しサポートする必要があると考えます。先に述べた理由から、家庭で実施するのは難しく、学校教育や地域活動の中で学べる機会を作りたい。</p> <p>●神奈川県内で実施されている母語教室は6か所（スペイン語3、ポルトガル語、ミャンマー語、タイ語）、民族学校やコミュニティ内で行われているものもあるが、限られている。          県内の母語教室：<a href="https://www.kif.jp.org/classroom/native-list/">https://www.kif.jp.org/classroom/native-list/</a></p> <p>●子どもたちのアイデンティティの確立に必要不可欠、保証されるべき。特に高校生が母語に触れ、学ぶ機会を得ることは、アイデンティティ形成においてとても重要。神奈川県立高校では鶴見総合高校で実施。  <a href="https://www.pen-kanagawa.ed.jp/tsurumisogo-ih/tokushoku/gaikoku.html">https://www.pen-kanagawa.ed.jp/tsurumisogo-ih/tokushoku/gaikoku.html</a>          （参考）大阪府立門真なみはや高校の母語（第一言語）授業（これまでに、中国語、フィリピン語、タイ語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、英語等）  <a href="https://www2.osaka-c.ed.jp/kadomanamihaya/folder_3/post-10.html">https://www2.osaka-c.ed.jp/kadomanamihaya/folder_3/post-10.html</a></p>
<p>備考</p>	<p>今後の会議で、提言構想に係る内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？          希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <p>（          ・神奈川県における母語・母文化教育の現状          ・外国人保護者の意見交流会          ）</p>



提言素案の記入様式

<p>名前</p>	<p>蔣 香梅</p>
<p>タイトル</p>	<p>日本語を第一言語としない子どもたちへの教育について</p>
<p>内容</p>	<p>多言語による就学案内          初期適応指導教室の開催          プレスクールの開催</p>
<p>理由</p>	<p>日本の公立学校で学ぶ外国につながる児童生徒は年々増加しています。          全国公立学校における日本語指導が必要な児童生徒は約10年間で1.7倍増。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>日本語習得の困難さ</li> <li>教科学習習得の困難さ</li> <li>高校進学の際の壁</li> </ol>
<p>備考</p>	<p>今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？          希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <p>・日本語指導について</p>

提言素案の記入様式

<p>名前</p>	<p>レ ダンコア</p>
<p>タイトル</p>	<p>外国籍県民の若年層におけるポテンシャルを発見する</p>
<p>内容</p>	<p>外国籍の若い県民が地域のイベントに積極的に参加できる良好な条件を与える。          例えば、地域の活動を計画する段階に、地域に住んでいる外国人がイベントに貢献できる内容を設定しておくなど。          イベントの属性や当事者の日本語と日本文化理解のレベルによって、外国人に多様な役割を与えることができる。例えば、簡単な役割から育成していくモデル：日本語がしゃべれなくても参加できるポジション→簡単な項目の助言役としてのポジション→活動全体の計画を相談し、実施するポジション、のような流れで展開できるでしょう。（あーすフェスタのモデル）</p>
<p>理由</p>	<p>日本社会は高齢化社会であり、地域や町内会の活動は主に定年した方が担っている。外国籍県民の中には、20代30代の人が多い。この若い人材が県内のボランティア活動、地域や町内会の活動に積極的に参加できれば、新しいアイデア、力、活気を補足できる。          外国籍県民の若い人にとっては地域の活動に参加することが学校や職場（バイト先）以外、日本社会に直接に触れる場であると考えられる。この場で、日本人と一緒に（しかし、会社のような厳しさではない環境の中で）働くこと、日本人の友達をつくること、自国と日本人の考え方の違いなどを実感することなどができる。日本での体験を多様化させ、自らの可能性を肯定できる新しいチャンスを提供することで、外国籍県民の若い人が日本・神奈川のことに親しくなり、日本で長く生活し、働く希望が強くなるかもしれません。</p>
<p>備考</p>	<p>今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？          希望するテーマがあれば、記入してください。          ・神奈川県における外国人支援体制の概要、外国人を支援する現場での実践知識</p>

提言素案の記入様式

<p>名前</p>	<p>レ ダンコア</p>
<p>タイトル</p>	<p>外国籍県民へのサポートを深く把握するプロの外国籍コーディネーターの育成</p>
<p>内容</p>	<p>県内の外国人へのサポートを調整する仕事において、ボランティア・パートタイムの形式に加え、専門職業としてのコーディネーターの形式を増加させる。公務員か組織の正社員、言い換えれば外国籍県民をサポートする仕事を人の本業になれるようにする必要がある。そのプロのコーディネーターの中に、外国人のスポットを設定する。その人々に安定的に生活できる給料、専門的な知識とスキル、挑戦のチャンスなどを提供しなければならない。</p>
<p>理由</p>	<p>県内の外国人を支援する活動に関心のある若い外国人に、その仕事を本業として働く選択肢を提供することは重要である。外国籍県民を支援することが一時的（アルバイト・パートタイム）だけではなく、長期的な発展可能性（フルタイム）の仕事にすれば、外国人コミュニティと日本社会のコネクターになりたい若い外国人が安心してその仕事に集中し、プロに成長できるようになる。そのようなプロの外国籍コーディネーターが増加すると、神奈川県における外国人への支援が健全的に持続的に発展できると思う。</p>
<p>備考</p>	<p>今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。</p>

提言素案の記入様式

<p>名前</p>	<p>韓 昌燾</p>
<p>タイトル</p>	<p>神奈川県 外国人コミュニティ・団体のネットワーク会議</p>
<p>内容</p>	<p>1. 委員のみなさんは、自分の国籍以外、どのような外国人団体とつながりがあるか（状況把握）</p> <p>2. 国際課は、それぞれの団体とどのように連携・連絡しているか（状況把握）</p> <p>3. 外国人が主体であるコミュニティ・団体同士のネットワーク形成を進めたい。</p>
<p>理由</p>	<p>1. 県内には、国を中心にしたコミュニティ・団体やテーマによる交流は多くある。</p> <p>2. 外国人市民としての横のつながりが増えたら、問題が発生したとき、同じ外国人としてお互い支えられる。</p> <p>3. 災害のとき、外国人の防災力の強化につながる。</p> <p>4. 県としても、必要な場合、協力し合える。</p> <p>5. その組織たちを横でつなげる仕組みとして、まずは、団体同士のネットワーク形成を進める必要がある。</p>
<p>備考</p>	<p>今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <p>・ かながわ国際交流財団と活動・課題についてお聞きでき、意見交換できたらいいかと思えます。</p>

ていげんそあん きにゆうようしき  
提言素案の記入様式

<p>なまえ 名前</p>	<p>リディア ワンタ</p>
<p>タイトル</p>	<p>がいくせき ほごしゃ とそのしそくのためのはつたつしようがい こ しえん 外国籍の保護者とその子息のための発達障害の子ども支援について</p>
<p>ないよう 内容</p>	<p>さいきん コロナかんせんが落ちてきて来日したがいくじんがふえています。そのために呼び寄せ家族も多くなっています。言葉と文化が違いますので子どもの子育ては大変だと思ひます。日本に来たばかりの外国人が家族と一緒に来て、子どもが発達障害と診断されてそのことに気付くと驚くでしょう。その理由はメンタルヘルス検査を実施している国はほとんどありません。そして、神奈川県では外国人向けの発達障害の情報と支援センターがまだ少ないため、外国籍の保護者として発達障害の種類が分からないと思ひます。そのため、多言語による発達障害に関する研修会を開いていただきたい。</p> <p>また、高学年の外国籍の子どものために日本語教室で1年間だけの支援ではなく、2年間又は3年間で日本語のサポートをお願いしたいです。</p>
<p>りゆう 理由</p>	<p>①日本で人手不足のため、多くの企業が外国人労働者を受け入れていますので来日した外国人が増加しています。彼らは家族とその子息を呼び寄せ、確かに日本語が不自由の状態です。</p> <p>②小学校3年生以上から学校に入学する外国籍の子どもたちは、コミュニケーションの取り方を知りません。外国人の子どもたちが勉強できないわけではなく、言葉が分からず、じっと座ってられず、授業についていけない等を「学習障害」と呼ばれることが多いです。外国籍の保護者にとって大変心配になり、帰国する方が少なくない現状です。</p> <p>③発達障害のある子どもを持つ親は、子どもの状態に気づいていません。これは、出身国では発達障害検査がめったにないためです。一般的にどこに相談し、何をすべきかを知りません。今後神奈川県に在住の発達障害を持つ外国籍県民は、多言語で相談できる専用窓口や発達障害に関する研修会を開いて、外国籍の保護者に負担を軽減する方法を知ってもらいたいと思ひます。</p>
<p>びこう 備考</p>	<p>こんご かいぎ ていげんこうそう かんけい ないよう べんきょうかい じっし 今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>きぼうするテーマがあれば、記入してください。</p> <p>( ・ 確定申告 ・ 国民年金 ・ ゴミ分別 ・ 起業家 )</p> <p>はつたつしようがい しゅるい しょうじょう こ ねんだいべつ とくちよう せつ かつ 発達障害とは？種類や症状、子どもの年代別の特徴や接し方 (LITALICO ライフ)</p> <p>はつたつしようがい かん がいくじんほごしゃむ くにりつしようがいしゃ 発達障害に関する外国人保護者向けパンフレット (国立障害者リハビリテーションセンター)</p>

ていげんそあん きにゆうようしき  
提言素案の記入様式

<p>なまえ 名前</p>	<p>りゅう ちよんしる 柳 晴実</p>
<p>タイトル</p>	<p>①学校教育における「多文化共生」教育の充実 ②母語・母文化教育の機会を保障するための仕組み作り</p>
<p>内容</p>	<p>①学校教育における「多文化共生」教育の充実 ・神奈川県<small>かながわけん</small>の小中高<small>しょうちゅうこう</small>、特別支援学校<small>とくべつしえんがっこう</small>における「多文化共生」の授業の実態調査 ・教職員<small>きょうしき員</small>へのアンケートの実施 ・「多文化共生ふれあい事業（仮）」の立ち上げ</p> <p>②母語・母文化教育の機会を保障するための仕組み作り ・神奈川県内<small>かながわけんない</small>の母語教室<small>ぼごきょうしつ</small>などの現状 ・母語・母文化教育の必要性やニーズの把握と課題の整理 ・外国人コミュニティ<small>がいこくじん</small>や外国<small>がいこく</small>につながる<small>つな</small>がりのある人材<small>じんざい</small>を活かせる場</p>
<p>理由</p>	<p>●たくさんの外国<small>がいこく</small>につながる児童生徒<small>じどうせいと</small>が公立学校<small>こうりつがっこう</small>などに通っている状況<small>じょうきょう</small>の中で、学校での「多文化共生」教育の重要性が高まっている。</p> <p>●できるだけ幼い時期<small>おきな</small>から、「多文化」に触れて、普段の生活の中で経験することが、今後の「多文化共生社会」を作るうえで大切。</p> <p>●「多文化共生」の授業をしたと思うときに、利用できる事業（制度）があり、それをコーディネートする機関があれば。</p> <p>●神奈川県内<small>かながわけんない</small>で実施されている母語教室は6か所（スペイン語3、ポルトガル語、ミャンマー語、タイ語）、民族学校やコミュニティ内で行われているものもあるが、限られている。</p> <p>●子どもたちのアイデンティティの確立に必要な不可欠、保証されるべき。</p> <p>●家庭で実施するのは難しく、学校教育や地域活動の中で学べる機会を作りたい。</p> <p>●母語・母文化に出会える場を作るために何が必要か？</p>
<p>備考</p>	<p>今後の会議で、提言構想<small>ていげんこうそう</small>に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習<small>がくしゅう</small>したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <p>・小中学校<small>しょうちゅうがっこう</small>における「多文化共生」に関する授業の現状、現場の声 ・神奈川県<small>かながわけん</small>における母語・母文化教育の現状 ・外国人保護者の意見交流会<small>がいこくじんほごしや いけんこうりゅうかい</small></p>

ていげんそあん きにゆうようしき  
提言素案の記入様式

<p>なまえ 名前</p>	<p>すずき 鈴木 クリスチーナ</p>
<p>タイトル</p>	<p>がいこくせきけんみん こうれいかもんだい 外国籍県民の高齢化問題</p>
<p>ないよう 内容</p>	<p>1. 高齢者福祉サービスは日本人向けになっております。すべてのサービスを受ける際申請が必要ですが言葉が通じないため、申請書類を理解する事が難しく困難な状況です。県内地域包括支援センターで多言語対応が出来る体制構築が早急に必要です。地域包括支援センターの役割はこれからとても重要です。</p> <p>2. 外国人高齢化問題は身近なところで進んでいますが、行政もあまり危機感を持っていない気がします。高齢者本人と家族も老後、介護について関心が薄く、もしくは、話し合う余裕が無いことも考えられます。</p> <p>3. 外国人高齢者のために交流の場を立ち上げる必要性。誰が、どのように立ち上げるのかは大きな課題です。すべてボランティアで賄う事は不可能と思えます。</p> <p>4. 各市町村で高齢者の健康維持、介護予防の様々なサービスのアクセスが出来るように、多言語化それか違う方法を生み出す必要があり、支えあうグループに発展してほしい。</p>
<p>りゆう 理由</p>	<p>ぜんきでの話し合い、多くの専門の先生の意見の中で介護保険制度をタイトルであると、国の制度であり直接当たることは難しいと言われましたので、身近で外国人高齢者を支えるサポート体制を考える必要性が見えました。</p> <p>ただ、ニューカマーで来日されている方は最初から社会保障加入は無く、現在年金金額では生活が出来ない実態であります。職場では65歳以上の方が来られますが、生活が厳しくこれからも仕事を維持する必要がある、老後とか介護は本人たちの中では想像出来ない未来と見えて来ます。</p> <p>外国人高齢者の方の中では、家族に支えられて生活が出来る方と、一人で日本で頼りのない方も少なくありません。介護サービスを受けるとき、申請手続き、サービスを受けられるのか、すべて理解できない事も現実に起きています。コミュニケーションの課題もあります。それは母国語で話すことは楽ですが、第二言語を使うのは非常に面倒であります。</p>
<p>びこう 備考</p>	<p>こんごかいぎで、ていげんこうそうかんけいするないようについて、べんきょうかいじっしすることをけんとうしてあります。どのようなテーマについてがくしゅうしたいですか？</p> <p>きぼうするテーマがあれば、きにゆうしててください。</p> <p>・地域包括支援センターの役割、外国籍高齢者の対応について</p>

ていげんそあん きにゆうようしき  
提言素案の記入様式

<p>なまえ 名前</p>	<p>きむ えいよん 金 愛蓮</p>
<p>タイトル</p>	<p>がいこくじんじゅうみん にほん おいて し 死ぬまでのサポート体制づくり</p>
<p>ないよう 内容</p>	<p>【提言の趣旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本社会の少子高齢化問題に隠れて話題にならない外国人住民の高齢化に目を向ける時期であること。</li> <li>・介護難民を作らない政策が急務であること。</li> </ul> <p>1. 外国人介護労働センターの設立</p> <p>①せつかく 育てた外国人介護労働者が登録し、必要に応じて、自分の言語を活かせる（必要とする）介護施設に出向きサービスが柔軟に対応できるようにするためのシステムを作ること。</p> <p>②また在宅介護における情報を共有し、外国人介護者が母語対応できるようにセンターを活用できるようなシステムを作ること。</p> <p>③外国人介護労働者のケア</p> <p>技能実習生などのツールでたくさんの人材が介護労働力として来日し、日本式介護を学び、日本語の試験を乗り越えて貴重な労働力として現場に参入しても職員同士のトラブルに巻き込まれるケースが多いことから、彼女・彼らが相談できるセンターを設立すること。</p> <p>2. 外国人高齢者の集いの場づくり</p> <p>①今、介護が必要な人、今後介護を必要とする人、家族や知人の介護に問題を抱えている人がワンクリックで集まれる居場所づくり。</p> <p>②当事者同士が集まれる場を提供し、まずは一人にならないようにすること。当事者の言語でなくても同じ立場の人が集える場の中で互いが支え合える場を作ること。</p> <p>3. 社会保障制度の見える化</p> <p>①介護保険を必要とする人のための周知</p> <p>国民健康保険に加入した40歳以上の人は自動的に介護保険料を取めていることすら理解していない外国人が多いことから、保険料納入書発行の時、やさしい日本語で国民健康保険や介護保険について説明文を同封するようにする。</p> <p>②介護を必要とする人のためにシミュレーションシートを作成配布</p> <p>介護が必要となった時に、自治体のどの部署で何を聞けばいいのか？果たして自分は日本で老いていていいのか？日本で死ぬのか？在宅介護は可能なの</p>



	<p>か？などQ&amp;A集でもよい、やさしい日本語やピクトグラム等を用いて外国人に届ける。</p> <p>③情報を集めたポータルサイトを作成する</p> <p>介護を必要とする本人及び家族や関係者が辿り着きやすいポータルサイトを作り、介護を側面からサポートするようにする。</p>
理由	<p>これまで日本政府にとって外国人は使い捨ての労働力としか観られていなかった節があり、外国人の老後問題が日本人の高齢化問題のように社会問題として認識されていない。1980年代は「語学研修生」、1990年代より「研修生」「技能実習生」などと名称を変えて外国の若い人材を日本の労働力として受け入れた。定住する外国人を想定していない対策であるため、外国人本人が申し出たり、外国人を雇用する機関が申し出しない限り、外国人は日本の社会保障制度から漏れてきた。労働力としてきた外国人自身も日本での定住を考えないまま、しかし人間の生の本能としての社会活動や生活の営みが進み日本での暮らしが定着してきた。日本社会の中で外国人家族が生産され外国人人口が日本の中からも増えてきたのである。</p> <p>2000年代に入り社会の変化が著しく移動の自由、グローバル時代などと個人の住処が自国でないことが珍しいことではなくなった。</p> <p>日本政府の考え方を乗り越える勢いで外国人の定住・永住は増え外国人自ら「外国人市民・外国人住民」と日本社会の一員として名をあげて日本で暮らすようになった。そして外国人も歳を取り高齢者になってきたのである。外国人高齢化に目を向けないまま今を過ごす、そのつけは日本人の高齢化にくだらう。</p> <p>日本社会の高齢化に外国人住民も同伴していることをもう一度認識し、一緒に歩んで欲しい。</p> <p>誰でも一度は死に、死ぬのはみんな初心者である。日本で安心して死ねるようなサポートをしたい。</p>
備考	<p>今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>

ていげんそあん きにゆうようしき  
提言素案の記入様式

<p>なまえ 名前</p>	<p>きん えいゆん 金 愛蓮</p>
<p>タイトル</p>	<p>がいこくじんじどう せいと じつたいちようさ 外国人児童・生徒の実態調査について</p>
<p>ないよう 内容</p>	<p>【提言の趣旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な理由で来日し日本に定住する外国人の日本語支援やサポートが整えられているが、未だサポートがボランティアに頼られていること。1982年に難民認定制度が整った時のままの支援体制であること。今の時代に逆流していることなど問題の核心に達していない支援の実態を調査し現代に合う支援体制を構築することを要請する。</li> </ul> <p>1. 子どもの日本語支援について：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 一律な支援政策から、(今現在は日本語支援一年半、母語話者による日本語支援半年ないし一年。) 個々の発達状態に合わせた支援ができるように、個々の発達状況を調査し、検討、支援者・保護者・教育者・教育委員会・有識者など関わりを広げた関係者で話し合える場を作る。</li> <li>(2) 必要に応じて日本語支援の年数、母語話者の支援を増やすなど柔軟に対応すること。</li> <li>(3) 日本生まれの外国人及び、日本国籍を持つ外国人の児童・生徒のニーズも把握し、適切な支援が行き届くようにする。</li> <li>(4) 学級時間内で柔軟に対応できる時間を見つけられない学校現場のことを考えると、各種委員会や部活動に取り組みなど学校プログラムの一部に盛り込むこと。</li> </ol> <p>2. 発達障害と分類される外国児童・生徒の実態調査及び支援の行方の調査：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) この頃、外国につながるのある児童・生徒の支援学級への転級のことが話題になっている。にもかかわらず教育委員会で実態調査をしたことの報告がないことから調査を要請する。</li> <li>(2) 支援学級へ行かされた児童・生徒が発達障害であるなら専門家の意見書を保護者に提出すること。</li> <li>(3) 日本語支援が不十分でクラス内では支援が難しく支援学級に行かされたなら、その後、元の学級に戻れたのかなどの児童・生徒の進級状況を保護者や支援者・関係者に報告すること。</li> </ol> <p>3. 継承語の支援のための母語話者の支援の輪を広げてもらう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 児童・生徒がどんなに日本語支援を受けて日本語が上手になっても家庭内で主に使われる言語が日本語でない場合、保護者とのコミュニケーションが取りにくくなる現実を考慮し、家庭内言語の実態調査を支援につなげるようにする。</li> <li>(2) 片親だけが外国人で、家庭内で孤立することが多々ある。児童・生徒の背景を調査し、保護者をサポートできるような体制を作ってもらいたい。</li> </ol>

	<p>(3) 日本生まれの外国につながる日本人の児童・生徒への支援：          日本国籍を持つ外国につながる子どもは名前や見た目、生活言語の日本語、国籍から支援対象から外れがちである。子どもの背景を調整することと調査を関係者で共有することを求める。</p> <p>4. 日本語支援や母語話者支援の専門化のために：</p> <p>(1) 現在の支援者はボランティア扱いで報酬は「謝礼」に留まり、1990年代に設定された料金、支援活動2時間で5000円、通訳一回で3000円が相場ようだ。このことにより人材が育成できないし、教育や支援に携わる人材が横流れしてしまうのが現状である。2時間の支援のために往復の時間、交通費などの経費が払われておらず実際半日を費やして5000円の報酬では神奈川県最低賃金にも達しない。通訳に関しても同様で、実際の通訳時間15分ないし20分と言っても往復の時間、待合せの時間、せつかく母語話者に会えた通訳の依頼者は時間を過ぎてても話をしたい場合が多い。「通訳のルール」などを用いても現実的に実効性のないルールである。20分の通訳の時間だけを計算して謝礼とするのではとても割に合わない。しかも珍しい言語となると通訳者の必要性はより高まり、県の南から北へ移動を余儀なくされる。報酬の見直しを要求する次第である。</p> <p>(2) 人材を妥当な値段で使う事で、その専門性は高まるだろうし、責任や自覚も培うことにつながりウィンウィンの状況を作る。母語話者の成長につながり、次世代が自分のアイデンティティを確率するのに土台となるようにする。</p>
理由	<p>学校は閉鎖的で今日、なにかにつけ「個人情報保護」として必要以上に問題を抱え込む傾向が強くなった。「個人情報保護」の言葉に隠れて横のつながりを薄くし、支援者同士も関係性を持たないまま、教員たちは児童・生徒を抱え込んで支援学級へ送り込む。</p> <p>このような悪循環を断ち切るためにも実態調査をすること、調査の結果を共有し、さらなる支援へつなぐことを切実に願う次第である。</p> <p>横のつながりを持つことで日本語支援が充実になり支援を必要とする本人の状況が見えやすくなる点を活かすこと。母語（継承語）の支援を充実することで、家庭内言語を確立すること。このことは介護政策にもつながることで、保護者世代の介護ニーズが家庭内でくみ取れるようになるだろう。ご存じのように児童・生徒は日本語支援を受けて日本社会の一員として成長していくが、家庭内に取り残された保護者は日本語がままならずのまま介護期を迎えると介護支援に辿りつけないケースが生じるようになる。</p> <p>このようなことから母語（継承語）支援を強化し、自分のルーツをしっかりと認識して生きる人に成長できるよう支援していくことが求められる。</p>
備考	<p>今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？</p> <p>希望するテーマがあれば、記入してください。</p>

しゃかいふくしゅかい  
【社会福祉部会】

ていげんそあん きにゆうようしき  
提言素案の記入様式

<p>なまえ 名前</p>	<p>ハリロバ ナタリア</p>
<p>タイトル</p>	<p>Mic かながわの通訳者<small>つうやくしゃ</small>に心理<small>しんり</small>カウンセラー<small>しかくしゆとく</small>の資格取得<small>しえん</small>の支援</p>
<p>ないよう 内容</p>	<p>1. Mic かながわのボランティア<small>みなさま</small>の皆様を対 象<small>たいしやう</small>に県<small>けん</small>として心理<small>しんり</small>カウンセラー<small>しかく</small>資格取得講座開講<small>しゆとくこうざかいこう</small>をお願いしたいです。                  2. 外国人<small>がいこくじん</small>の為<small>ため</small>にホットライン<small>てき</small>的な仕組<small>しぐみ</small>みを県<small>けん</small>に作<small>つく</small>っていただきたいです。                  3. AI による子 ども用<small>こ</small>カウンセリ<small>よう</small>ングシステムを県<small>けん</small>として取<small>と</small>り組<small>く</small>んでいただきたいです。                  4. 神奈川県<small>かながわけん</small>の外国人<small>がいこくじん</small>専用<small>せんよう</small>相談窓<small>そうだんまどぐち</small>口に ChatGPT<small>じんこうちのう</small> (人工知能チャットボット) を設置<small>せつち</small>してほしい。</p>
<p>りゆう 理由</p>	
<p>びこう 備考</p>	<p>今後の会議<small>こんご</small>で、提言構想<small>かいぎ</small>に<small>ていげんこうそう</small>関係する<small>かんけい</small>内容<small>ないよう</small>について、勉強会<small>べんきやうかい</small>を実施<small>じっし</small>することを検討<small>けんとう</small>しています。どのようなテーマ<small>がくしゆう</small>について学<small>がく</small>習<small>しゆう</small>したいですか？                  希望<small>きぼう</small>するテーマ<small>きにゆう</small>があれば、記入<small>き</small>入<small>にゆう</small>してください。</p>